

令和7年度 障害者福祉支援施設 いとし子の家 地域連携推進会議 議事録

事業所名	障害者福祉支援施設 いとし子の家		
日 時	令和7年12月7日（日） 14:30～15:45		
場 所	いとし子の家 集会室		
出席者	推 進 員	人 数	
	利用者	1 名	
	利用者家族	2 名	
	地域の関係者	1 名	地区自治会長
	地域の関係者	1 名	地区校区長 / 地区民生委員・児童委員
	福祉に知見のある方	1 名	障害者支援施設 施設長
	事業所職員	人 数	
	出席者	5 名	管理者・地域生活支援部長・生活支援部長・入所部課長
議 題	(1) お 祈 り（開会） (2) 主 催 者 挨 拶 (3) 構 成 員 紹 介 (4) 地 域 連 携 推 進 会 議 の 説 明 (5) 施設見学 (6) 事業所の紹介・概要説明 (7) 意見交換 (8) お 祈 り（閉会）		
議題内容・意見等	(1) 開会にあたり、慣例としてカトリックの施設においてお祈りの唱和で会を始める。 (2) 主催者による挨拶（事業所の近況報告・運営状況を含む） (3) 地域連携推進員の紹介 (4) 地域連携推進会議の目的と意義/地域連携推進員の構成/地域連携推進会議の主な内容 /地域連携推進会議の実施方法をパワーポイント説明。 (5) 施設見学 (6) 施設の概要/利用者の状況/職員配置状況/年間行事/防災・避難訓練 BCPの策定状況/利用者の権利擁護/近隣住民からの苦情関連をパワーポイント説明。 (7) 意見交換 *見学をされ、入所された利用者様に対する支援の大変さや大切さを感じて頂け、施設としての在り方、存在意義のご意見を頂きました。 また、支援や関わりを拝見されて福祉職の中でのチームワークの大切さを伝えて頂きました。 *地域の中での施設として、これまで地域の要望等もあり、法人として拡大（高齢者施設、幼稚園、障がい者支援施設）してきた歴史や取り組み、現在を振り返られて福祉施設としての地域貢献の意義や大切さのご助言を頂きました。 *保護者の視点から、利用者様によって部屋の雰囲気に違いが見られる。利用者様によって障害特性等があるかもしれませんが、利用者様一人々に合った部屋の内装や雰囲気作りのご依頼がありました。 ※保護者の視点から、身体拘束（介護ベットの柵、車椅子のベルト、ヘッドギア、居室施設）についての質問あり、身体拘束の3原則は「切迫性」「非代替性」「一時性」を踏まえ、会議を行い、3原則の基準に該当するのか、他の代替案の有無等について話し合いを実施。 また、御家族様にインフォームドコンセントを実施して、許可を頂いて初めて実施している状態をお伝えしています。 また、定期の会議を行い利用者様の現状を踏まえつつ、身体拘束をなるべくなくしていくように取り組んでいる活動内容をお伝えさせて頂きました。 (8) 閉会にあたり、慣例としてカトリックの施設においてお祈りの唱和で会を終わる。		